

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【宮原小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 国語「話すこと・聞くこと」「読むこと」 算数「数と計算」「データの活用」 <指導上の課題> 個人差が大きい。個に応じた指導を充実させていく必要がある。基礎学力定着に向けた反復や振り返りの時間を十分に確保する必要がある。	⇒ 書き込み式ドリルやドリルパーク、学習アプリケーションの活用を通して、一人ひとりの課題に合った学習を進めていくことができるよう指導する【週に1度】。 ・1人1台端末を活用し、自立した学び手を育成することを目指す授業を行い、成果と課題を共有する【学期に1度程度】。
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語「話すこと・聞くこと」「読むこと」 算数「数と計算」「図形」変化と関係 <指導上の課題> 個人差が大きい。個に応じた指導を充実させていく必要がある。児童主体の学習活動の機会を十分に確保する必要がある。	⇒ 評価規準を児童に示すことで、児童主体の振り返りを充実させる【週に1回程度】。 ・ICTを効果的に活用し、児童の「わかった・できた・楽しい」を引き出す。また、魅力ある導入や必要感のある課題設定、解決の見通しをもって自力解決の場面の設定を行う【週に1回程度】。

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	結果提供(2月)
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現	結果提供(7月)

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)